

日本看護連盟会長 祝辞

令和四年度群馬県看護協会総会が開催されるにあたり、一言お祝いのご挨拶を申し上げます。

未だ新型コロナウイルス感染の収束が見えない中、協会長始め役員・会員の皆様におかれましては、最前線の現場で日々不安と緊張のなか、徹底した感染対策で、国民のいのちを守ってくださっていることに、心より敬意と感謝の意を申し上げます。

さて、日本看護連盟は、政権与党の看護職の議員を衆議院ではあべ俊子議員、高階恵美子議員と、参議院では石田まさひろ議員の三名を送っています。

看護職国会議員が国政の場で活躍できるのも、日本看護協会、都道府県看護協会のご協力とご支援の賜物と改めて感謝申し上げます。

このたび日本看護連盟は、二〇二二年二月の通常総会で第二六回参議院選挙組織内候補予定者に友納理緒（とものおりお）氏を決議致しました。看護師と弁護士のダブルライセンスを持っている二児の母、友納理緒候補予定者は、看護職を守るために弁護士になり、医療事故をはじめとする様々な現場の問題に取り組み、看護師たちを支援してきました。その知識と経験を活かし、今度は国政の場で看護政策に必要な法改正や制度づくりへと、大きな力を発揮してくれることを期待しています。

岸田総裁が「看護・介護・保育の賃金アップ」に関する施策を掲げています。ただし、すべての看護職の賃金アップ実現には、この先、長い時間と沢山の労力と看護職自身の意識改革が必要になります。

今回は、スタートラインに立ったにすぎません。それでも、いまが千載一遇の大きなチャンスの時です。この選挙を通して、看護職の社会的意識を、友納候補予定者の獲得得票をもつて示すことが、社会を動かす原動力になります。全国の職場で、最善を尽くしているすべての看護職の役割に見合った処遇改善の実現を目指していきます。

日本看護連盟は、日本看護協会と役割を分担し連携しながら、看護界の発展のため看護協会の重点政策・重点事業の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。今後とも一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様の更なるご活躍とご健勝を心から祈念し、群馬県看護協会のご発展をお祈り申し上げ、祝辞といたします。

令和四年六月十八日

日本看護連盟 会長 大島 敏子

群馬県看護協会 会長 荻原 京子 様